

事業計画書

事業名	ふるさと大沢伝承事業
実施箇所	旧大沢小学校本館
実施期間	事業開始予定年月日 平成27年5月1日
	事業終了予定年月日 平成27年12月25日
事業概要	<p><事業の目的></p> <p>大沢地区内には、明治26年に建てられた旧大沢小学校(本館)がほぼそのままの姿で保存され、佐久市有形文化財の指定もされている。校舎の3教室には地区内から集められた農具、生活用品などの歴史的な民俗資料も数多く保存展示されている。築122年の佐久市内では数少ない木造校舎と人々の暮らしの中で愛用されてきた生活用品の品々、これらは意外と知られていない郷土の近現代史を知るうえでも手掛かりとなる貴重な歴史的文化的遺産であり、有効活用が望まれる。実際に目で見て、肌で感じられる文化財と民俗資料、これらを活用し、さらに当時の生活文化を記録した写真パネル、年表等を新たに作製し、展示することにより、施設全体の魅力アップを図り、観光資源としての誘客も図りたい。</p>
	<p><事業の内容></p> <p>過去、長い間、営まれてきた農業を中心とした自給自足的な農山村の生活を写した写真パネルを旧大沢小学校本館内に展示する。特に大沢地区では、明治以来、力を注いできた林業を一つの柱として考える。また、明治・大正・昭和と地域文化の担い手であった小学校の変遷を通して郷土史を体系的に理解できる年表を作製し、展示する。</p>
	<p><事業の効果・アピールポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・築122年、佐久市有形文化財である木造校舎内で当時の時代背景を写した写真パネルや年表を作製し、展示することにより身近な郷土史の理解が促進される。 ・身近な郷土史を通して家族や地域との絆や郷土愛、地域コミュニティの醸成が図れる。 ・身近な郷土史を通して世代間(お年寄りが主役)や地域外の人々との交流が図られる。 ・佐久市有形文化財の指定をされたが、これまで余り日の目を見なかった明治時代中期の歴史的木造校舎の活用と展示資料の充実により観光資源として誘客が期待できる。
	<p><事業における市の役割分担></p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設(旧大沢小学校本館)の周知、宣伝、PRを積極的に行っていただきたい。 ・施設は、元々、佐久市の所有でありますので、ハード面の維持管理をお願いしたい。見学者の受入案内等の運用面は本大沢地区文化財保存会で対応します。